

善隣

No.495 通巻762

2018年（平成30年）9月1日発行（毎月1日発行）

2018

9





新橋こいち祭り

(7月26～27日、「みんなの写真館」参照)



善 隣 目 次 2018年 9 月号

公開講演会記録

激動の朝鮮半島と金正恩氏の決断	安尾芳典	2
日韓中ロ参加合弁会社による 日本海横断航路の軌跡	三橋郁雄	10
東京幻視芸能考 其の二	石飛 仁	18
漢詩に親しむ 其二 音曲 漢詩を唄う	藤木英夫	26
中国ウォッチング	編・訳 上松玲子	28
コラム 〈腰折れ文〉 十三、	渡邊澄子	30
陶々俳壇	馬場由紀子選／鈴木昭治郎	31
協会通信・会員だより・同好会だより		32
2018年 9月の行事予定		33

みんなの写真館	32
---------------	----

善 隣 第495号 通巻762号

2018 (平成30) 年 9 月 1 日発行

発行所 〒105-0004 東京都港区新橋 1-5-5

一般社団法人 国際善隣協会

TEL 03 (3573) 3051

FAX 03 (3573) 1783

発行人 矢野一彌

印刷所 (旬)ゆにおんプレス

定価 一部400円 年額4,800円

振替 00120-0-145956

国際標準逐次刊行物 ISSN 0386-0345

©禁無断転載

公開講演会記録

激動の朝鮮半島と

金正恩氏の決断

共同通信客員論説委員 安尾芳典



北朝鮮の核・ミサイル開発により緊張が高まっていた朝鮮半島情勢は、ことしに入り、対話へと大転換した。これを受け2度にわたる南北首脳会談、3度にとたる中朝首脳会談、歴史的な米朝首脳会談へと一気に進み、北朝鮮の金正恩朝鮮労働委員長は「朝鮮半島の完全な非核化」を約束した。米朝首脳会談で完全な非核化が実現すれば、唯一残っていた朝鮮半島の冷戦構造の終焉につながる可能性がある。だが北朝鮮の非核化は紆余曲折をたどる可能性が大きい。

▽対立から対話へ

昨年、米国と北朝鮮は一触即発の状況

に直面し、米国の北朝鮮への武力攻撃は一手手前までいっていた。対話の転機となったのは、北朝鮮の金正恩委員長が1月1日の新年の辞だ。国家核戦力完成という歴史的大業を成就したと述べるとともに韓国での平昌冬季五輪への参加を打ち出した。

金正恩氏は米朝首脳会談が決まると、3月末に南北首脳会談を前に訪中し、習近平国家主席と会談した。金正恩氏にとり初めての訪中で、朝鮮半島の非核化には「段階的な措置」が必要との考えを示し、圧力路線を崩さない米国をけん制、譲歩を求めた。

南北、米朝首脳会談を控えた4月20日、北朝鮮は核実験場廃棄や大陸間弾道

ミサイル（ICBM）発射実験中止など事実上の核開発凍結を発表した。核開発と経済建設を同時に進める「並進路線」の「勝利」を宣言するとして核開発を事実上撤回し、経済建設に総力を挙げる新路線を提示。経済建設へ向けて国際社会との対話を進めると表明した。史上初の米朝首脳会談の実現へ環境を整備する狙いとみられた。

3度目となる南北首脳会談は4月27日、板門店の韓国側施設「平和の家」で開かれた。文在寅氏と金正恩氏は「南北は完全な非核化を通して、核のない朝鮮半島を実現するという共通目標を確認した」とする「板門店宣言」に署名した。年内に朝鮮戦争の終戦を宣言し、休戦協

定を平和協定に転換するため米国や中国を交えた会談を推進することで合意した。金正恩氏は全ての合意を「徹底履行する」と約束した。この宣言は「朝鮮半島の非核化」としており、北朝鮮だけでなく、朝鮮半島全体を対象としていることに北朝鮮の狙いがあった。また平和協定への転換は北朝鮮がこれまで求めてきたものであり、米韓合同軍事演習の中止や在韓米軍の撤退を狙ったものだった。

トランプ米大統領の即断で決まった米朝首脳会談の前に、金正恩氏は習近平氏や文在寅氏と再会談し、入念に準備したが、これは駆け引きだった。このトランプ氏の中止決定をいち早くかつ世界で唯一、支持すると表明したのは安倍晋三首相だけだった。北朝鮮は核実験場の坑道を爆破し、海外のメディアにも公開して、非核化の意思を示した。坑道爆破には韓国や西側のメディアが招かれたが、日本のメディアは除外された。

▽米朝会談で「勝利した」金正恩氏

6月12日、シンガポールで行われた初の米朝首脳会談では、南北会談に続きテレビ中継される中、金正恩氏とトランプ

氏はがっちり握手した。トランプ氏は「私たちには素晴らしい関係がある」と繰り返し、相性はばっちりだとアピールした。「有能」などと褒めまくるトランプ氏に金正恩氏は満面の笑みで応じた。首脳会談で金正恩氏は「朝鮮半島の完全非核化」を約束し、トランプ氏は体制保証をした。今回の共同声明は、新しい米朝関係樹立や恒久的な平和体制構築、完全な非核化への努力など「大卒的」（トランプ氏）な内容にとどまり、唯一具体的な措置と言えるのは、朝鮮戦争の戦没米兵らの遺骨の返還だった。制裁の解除にも触れなかった。

トランプ氏は記者会見で、対話が続いている間は米韓演習を中断する意向を表明。将来的な在韓米軍の縮小や撤退の可能性にも言及。さらに「北朝鮮はミサイルエンジンの実験場を破壊すると約束した」と述べた。これは米国に届くICBMのミサイルエンジンの実験場だろう。共同声明は肝心の非核化を進める具体策に乏しく、米国が求めてきた「完全かつ検証可能で不可逆的な非核化（CVID）」との表現は盛り込まれず、米朝交渉の厳しさをうかがわせた。結果がまとまらない中、首脳会談は友好の演出に重点が置かれた印象が否めない。

▽「残虐な独裁者」か「開放的な指導者」か

金正恩氏は、2011年末に20代後半の若さで権力を継承してから7年で、米朝首脳会談を実現させ、テレビ中継される中で北朝鮮の最大の「敵国」の大統領と堂々とわたりあった。

金正恩氏は、西側的な開放的統治スタイルをみせる反面、権力基盤固めには身内にも容赦しない「恐怖政治」のイメージもつきまといていた。

冷酷な面としては、叔父の張成沢元国防副委員長の処刑、異母兄の金正男氏の暗殺を命じたことが挙げられる。さらに多数の幹部らが粛清された。粛清された者の人数は、金日成主席や金正日総書記時代を上回るとされ、張成沢氏の処刑や金正男氏の暗殺は、北朝鮮の激しい権力闘争を背景にしている。NHKによると、張成沢氏は2012年8月、中国・北京で当時の胡錦濤国家主席と個別に会談した際、金正男氏を北朝鮮の最高指導者にしたいという意向を明らかにした。

この会話を当時、中国の最高指導部のメンバーだった周永康政治局常務委員が部下を使って盗聴しており、周氏は13年

初めに北朝鮮の最高指導者となっていた金正恩氏に会談の内容を密告したという。

周氏は汚職や国家機密漏えい罪などに問われて無期懲役の判決を受けたが、北朝鮮への密告が国家機密漏えい罪に当たると判断されたという。これが金正男氏の殺害につながったと見られている。

北朝鮮では「建国の父」として神格化される故金日成主席の一族を「白頭の血統」と呼び、最高権力が世襲されてきた。ただ故金正日総書記の死去を受け20代後半の若さで最高指導者となった金正恩氏は準備期間が短く、急速な偶像化を進めるため粛清や処刑が頻繁に繰り返されているとの指摘もある。

金正男氏は、金正恩体制には「ほとんど影響力を持っていなかった」とされるが、北朝鮮の現指導部が「白頭の血統」に連なる正男氏を潜在的な「危険分子」とみていた可能性もある。

反面、金正恩氏は開放的な側面も持っている。祖父の金日成氏にそっくりの容貌で大衆の中に入ったり、12年のミサイル発射には西側メディアを招いて公開したりした。李雪主夫人とともに視察し、女性の音楽楽団に米国の映画音楽を演奏させたり、ディズニーのキャラクターを

舞台上に登場させたりした。

さらに大のバスケットボール好きの金正恩氏は、米プロバスケットボールNB Aの元スター選手のマイケル・ジョーダン氏を平壤に招いて交流するなど従来の北朝鮮指導者像とは異なる「開放的」な一面も見せた。

金正恩氏は12歳からスイスに5年間留学した。数か月間、ベルンのインターナショナルスクールに通った後、公立学校に転校した。成績はそれほどよくはなかったが、体育と音楽はよかったという。特にバスケットボールが好きだった。バスケットボールを描いた日本のマンガ「スラムダンク」を愛読していたという。

だが金正恩氏にも負い目があった。母親の高英姫氏が在日朝鮮人だったことだ。祖父の金日成主席は金正恩氏を一度も抱いたことがないという。2人が一緒に写った写真も1枚もない。一方、腹違いの長男の金正男氏は金日成氏に会いがられていた。だから金正男氏が日本に入国して強制退去されるまでは彼が後継者というのが大方の見方だった。

▽路線転換

2011年末に指導者となった金正恩

氏は、父の金正日氏の路線を転換した。金正日氏は、軍重視の先軍政治を押し進めてきた。この先軍政治路線を転換し、祖父の金日成氏と同様に、党が軍よりも主導的立場に立つ本来の体制に戻したのだ。

先軍政治は、金日成氏の死去後に北朝鮮を襲った食糧難で餓死者が200万人とも言われる厳しい経済状況に直面する中、金正日氏が1995年初めから掲げた軍重視の指導路線で、社会主義革命を実現するための独自の政治方式とする一方、国防力強化を最優先に位置付け、核や弾道ミサイルの開発を進めた。当初は90年代半ばからの経済難を乗り切るための危機管理的な体制とみられていたが、2009年の憲法改正で「先軍思想」は国家の指導的指針とされた。金総書記の死去を受け後継指導者となった金正恩氏は当初、先軍政治の継承を表明していたが、その後、先軍政治を金日成氏時代の党が主導する体制へと転換させた。金正恩氏は祖父の髪形や動作などをまねてるとされるが、政策面でも祖父をまねていると言える。

36年ぶりに16年5月に開かれた朝鮮労働党大会で、金正恩氏は金正日氏が先軍政治の象徴として国家の中心に据えた国

防委員会をあらためて国務委員会を新設し、委員長に就任した。国防副委員長に就いていた軍人出身者は含まれず、国防委に比べ国務委は軍事色が薄まった。軍事優先の危機管理体制の修正を図る改編となっている。

金正恩氏は12年4月、金日成広場での初の演説で、「人民が再びベルトをきつく締めることがないようにする」と述べ、食糧難による飢餓が起きないようにすることを誓った。これは軍事よりも経済を優先することを誓ったものだ。

北朝鮮の課題は、思想、軍事、経済とされる。金日成氏は思想の、金正日氏は軍事の課題をそれぞれ解決したとされる。金正恩氏にとっては残る経済が課題である。

金正恩氏が経済の課題に取り組むうえで国家方針として、まず掲げたのが経済建設と核戦力建設を同時に進める「並進路線」だった。2011年12月に父親の金正日氏が亡くなり3代目の後継指導者になると、翌12年4月には憲法を改正し、核保有国と明記した。そして13年の党中央委員会総会で並進路線を打ち出した。

並進路線は、核抑止力を確保することで国防費を増大することなく防衛力を高め、経済建設に国力を集中させられると

している。金日成氏が1960年代に掲げた「経済建設と国防建設の並進路線」を発展させたものと位置付けられている。

▽非核化の決断

対話へと舵を切った金正恩氏は米朝首脳会談でトランプ氏に「完全な非核化」を約束したが、果たして非核化にはどれ



平壤市内の高層住宅。通称「ピョンハッタン」と呼ばれている。

ほどの本気度があるのだろうか。

金正恩氏はことし4月の党中央委総会で並進路線をやめ、経済建設に集中すると決定した。決定は「核開発と経済建設の『並進路線』の勝利を宣言し、経済建設に総力を集中する」「経済建設に有利な国際環境をつくるため、周辺国や国際社会との緊密な連携と対話を積極化する」としている。「恒久的」としてきた並進路線を転換した背景には、制裁緩和の必要に迫られたのに加え、米朝の橋渡し役を自任する韓国の文在寅政権を味方につけ、非核化交渉の見返りに最大限の成果を得る好機との判断もあったとみられる。

北朝鮮が米朝首脳会談で非核化に応じた最大の要因は、北朝鮮の戦略にあった。その戦略に沿って金正恩氏は非核化の決断をした。この決断は、昨年11月に米本土に届く大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射に成功したことにより、北朝鮮が国家核戦略を完成させたと宣言したことに基いていた。

朝鮮戦争で戦火を交え、70年近く敵対してきた超大国、米国との関係改善は、北朝鮮が悲願としてきた最大の外交目標であった。祖父や父もなしえなかった米大統領との会談を実現、関係改善へ大き

な一歩を踏み出した正恩氏の発言の随所に、米朝関係の歴史的転換への意気込みがにじんだ。

北朝鮮の核戦略は基本的には核抑止力にあるが、それだけでなく核を保有して米国と対等に交渉していくことが狙いだった。その戦略目標は、米国と国交正常化し、朝鮮戦争の休戦協定を平和協定に転換し、米韓合同軍事演習を中止させるだけでなく、在韓米軍の撤退を図るというものだ。そして最終的な目標は北朝鮮主導による南北統一にある。こうした目標を達成するためには、核戦略を完成させて米国と対等な立場で交渉することが必要だった。昨年のICBMの「完成」はまさに、こうした戦略に沿った最終的な到達点だった。

北朝鮮は2016、17年に核・ミサイル開発を加速化させた。核実験は3、4年に1回行っていたのが、16年は2回、17年にも1回行った。ミサイル発射実験も16、17年に20回ほど行った。今年は北朝鮮建国70年であり、南北分断70年でもある。北朝鮮は今年9月には大々的な建国行事を予定している。その今年に對話への転換を図るため核開発を急いだのだろう。

ミサイル開発では、北朝鮮にとり都合

のよい情勢があった。北朝鮮のICBMのエンジンがウクライナ製とみられている。北朝鮮はかつてウクライナからエンジンの設計図を盗み取ろうとして失敗したことがあった。ウクライナ側の捜査に引っかかり、北朝鮮の工作員全員が逮捕された。だが、ウクライナ情勢の変化により、ウクライナは資金に窮し、これが北朝鮮に好都合となり、エンジンが北朝鮮にわたったとみられる。

▽對話転換の背景

金正恩氏は昨17年の新年の辞で、ICBM発射準備が最終段階にあると述べた。その通り、同年11月には米本土に到達できるICBMを発射し、年初の言葉通りにICBMを完成させたと宣言した。ただ米本土に届くこのICBMには問題があった。弾頭の大気圏再突入技術はまだ完成していなかったのだ。それでも「完成」と表明したのは、翌年から對話に転じる戦略のために急いでいたからだった。

もう一つは、未完成部分をあえて残し、「完成」と表明することで、米側との對話の余地を残しておいたともみられる。この技術が完成していれば、米国は

攻撃に踏み切っていたかもしれないのだ。米国は、北朝鮮が再突入技術を獲得するには数か月程度かかるだろうと推定していた。このため米国としても、この技術を獲得する前に急いで交渉し、ICBMの完成を阻止する必要があったとみられる。米朝首脳会談で金正恩氏はトランプ氏に、エンジン発射実験場を破壊すると伝えたのも、こうした北朝鮮の狙いだったのだろう。

北朝鮮の對話への転換は戦略に沿ったものであったが、国際的な制裁強化や米国からの武力攻撃の可能性の高まりのためでもあった。こうした制裁強化や米国からの武力攻撃を想定しての戦略であった。

米国は、北朝鮮がICBMをほぼ完成させたことから、武力攻撃を考えるようになった。だが米国が恐れたのは、北朝鮮からの核による報復だ。そうなれば、米朝は全面戦争となり、朝鮮半島ばかりでなく、日本なども大きな被害を受ける恐れがあった。このため米国では、「鼻血作戦」といって、報復を招かない程度の規模の小さい武力攻撃を検討していた。ただ北朝鮮がこれに対し、核攻撃で報復する可能性も排除できなかった。さらに北朝鮮は、後ろ盾となっていた

中国が国連安保理の制裁に賛成に回ったことに反発を抱いていた。中国は国連安保理制裁決議に従い、石炭や繊維といった北朝鮮の主力輸出品の輸入を規制し、さらに原油の輸出を制限した。原油の輸出が完全に止まれば、北朝鮮にとっては計り知れない打撃となる。これ以上の核実験やミサイル発射は、さらに安保理の制裁決議を受けて、中国からの原油は完全に停止となる可能性があった。このため、これ以上の制裁を避けるためにも対話に転換する必要があった。

中国は北朝鮮の核実験やミサイル発射に対する国連安保理決議に賛成し、北朝鮮との関係が冷え切った。特に昨年には、北朝鮮の石炭輸出などを制限し、原油供給の一部停止にまで踏み切るなど厳しい制裁に踏み切った。これは北朝鮮に大きな打撃となった。ただ中国が制裁に賛成したのは、米国から北朝鮮の体制を崩壊させないとの言質を取った上でのこととみられている。

中国ばかりでなく、ロシアも北朝鮮の核開発には反対だ。中ロが共に求めているのは、北朝鮮の非核化と米韓合同軍事演習の中止を同時に実施することだった。特に中国は在韓米軍の撤退を狙っていた。韓国では朴槿恵政権時代の昨年、

在韓米軍の「高高度防衛ミサイル（THAAD）」の配備を受け入れ、中国の激しい反発を招いた。

もう一つ挙げられるのが、金正恩体制になり経済が上向きになり、非核を議題とした対話に応じる余地が出てきたことだ。非核化を受け入れるには、国内的には経済がある程度発展していなければならぬ。非核化後には経済改革を進めていく必要があるためだ。軍事でなく、経済発展で国内を安定させることが求められるからだ。経済改革には、一定程度の経済基盤がなければ、体制を不安定にしかねない。

1990年代に大規模な食糧難に見舞われ、200万人が餓死したとされる北朝鮮では、経済が難題だった。金日成、金正日両氏とも小幅な経済改革を進めたが、うまくいかなかった。中国は金正日氏に北朝鮮も改革・開放政策を導入するよう働きかけてきたが、中国のような改革・開放には踏み切れなかった。改革・開放によって、金一族の支配体制が揺らぐことを恐れたからだ。北朝鮮では改革・開放という言葉はタブーに近かった。金正恩氏は破たんしていた経済を就任以来のこの7年間でかなり回復させた。日本貿易振興機構（ジェトロ）による



平壤市内のレストラン前で客待ちするタクシー

と、北朝鮮の1人当たり国内総生産（GDP）は1100～1260ドル程度（約12万～14万円）で、ミャンマーと同程度だ。金正恩政権発足前後から5年程度は中国への石炭輸出が増えた。韓国銀行は12～14年の北朝鮮の実質GDPの成長率は1%台だとし、昨年の成長率は約4%と推定している。食糧生産もかなり盛り返し、2016年は約490万トンと500万トンに迫った。食糧増産は、農業改革が功を奏した。また軽工業を中

心とした改革も進んだ。こうした改革には競争原理も導入され各工場に生産を競わせた。ただ北朝鮮ではこれを「社会主義競争」と呼び、自由主義体制での競争とは異なるとしている。

携帯電話も導入され、既に300万台を超えた。タクシーも走るようになった。レストランも増え、競争が激化している。スパゲッティの店やハンバーガーの店、ビアホールもできた。街角にはキョスクのような店が並び、パンや菓子、ジュースなどを販売している。遊園地や大型プールもでき、自転車専用道路も設けられた。

平壤市内は建築ブームで、70階建ての高層ビルが立ち並び、「マンハッタン」をもじって「ピョンハッタン」とも呼ばれるようになった。女性たちの服装などもオシャレになり、ピアスをしたり、ハイヒールをはき、ショルダーバッグを持ったりするようになった。

こうした光景はスイスに留学した金正恩氏好みと言える。金正恩氏は北朝鮮を「普通の国」にしたいと思っており、そのモデルとなっているのが、米朝首脳会谈が開かれたシンガポールやスイスだ。北朝鮮とシンガポールの関係は以前から良好で、シンガポールを通じて日本製品



平壤市内で日傘を差し、携帯で電話しながら歩く女性

も含めてさまざまなモノが輸入されている。特にシンガポールは自由主義体制だが、1党独裁の強権的体質の国で統治も厳しい。北朝鮮がお手本にしやすいからだ。並進路線が功を奏したといえるだろう。

▽非核化の本気度

さて、これまで絶対に核を放棄しないと表明してきた北朝鮮が果たして、本当に、完全な非核化に応じるのか。

憲法に核保有国と明記し、核兵器を「宝剣」として絶対に手放さないと主張してきた北朝鮮は長い期間をかけてばく大な投資で核開発を進めてきた。国際的な条約や合意を次々と一方的に破棄してきたトランプ氏の体制保証はどこまで信じられるのか、北朝鮮が不信の目で見ているのは間違いない。トランプ氏は2年後か6年後に退任するが、まだ35歳金正恩氏は健康さえ問題なければ30年以上は政権の座にある。自らの体制を保持していくうえでも、核は一部でも保有しておく可能性を排除できない。

金正日氏は2002年に訪朝した小泉純一郎首相との会談で「われわれは生存権のために核を持つようになった。米国は核を先に放棄しろと言っているが、これは敗戦国への要求であり、受け入れられない」と述べたという。こうした考えは金正恩氏にも引き継がれているはずだ。

今回の米朝首脳会谈に歴史的意義を求めるとすれば、朝鮮半島の秩序再編を予告した点だ。会谈に至る過程で、金委員長は韓国、中国との首脳外交を通じ足場固めを図った。通商や軍事分野でせめぎ合う米中を横目に、金正恩氏は米中どちらからも重視される立場を獲得しようとする。



平壤市内の結婚式に参列していた子どもたち

している。

南北が平和共存へ進む朝鮮半島が、米中それぞれにとって敵対的な存在とならないよう意識させ、競わせようとしているのだ。「とても立派でとても賢い」とトランプ大統領が激賞した金正恩氏の戦略的な狙いは明らかにしたともいえる。

今後、非核化の過程で核の申告、検証があっても、100%核を申告するかどうかは焦点となる。地下施設に隠せば発

見にくい。プルトニウムは隠すのは難しいが、ウラン濃縮装置は隠しやすく、発見が困難だ。北朝鮮の核施設は千か所以上あるとも言われる。金正恩氏の誠意に頼るしかないのだ。

▽「普通の国」への試練

金正恩氏が、北朝鮮の将来のモデルとして、米朝首脳会談が開かれたシンガポールを模して「普通の国」を目指しているのであれば、本格的な経済改革が必要だ。中国の改革・開放がモデルとされてきたが、むしろベトナムのドイモイのような経済改革が北朝鮮にはふさわしいかもしれない。

南北、米朝の両首脳会談を受け朝鮮戦争の終結を宣言し平和協定が締結されれば、朝鮮半島に残る冷戦構造が終わりをづけ、南北が統一へ向かうことになる。南北統一では、第1回の南北首脳会談で合意した緩やかな連邦制が有力となる。そして南北統一国家が誕生すれば、人口8千万となり、いつの日か日本をしのぐ大国となる可能性を持つことになるだろう。

だが冷戦構造の終結をもたらすための米朝協議は険しい道をたどるだろう。ポ

ンペオ氏は7月6〜7日に北朝鮮を訪問したが、非核化交渉で目立った進展は見られなかった。トランプ米大統領は7月17日、北朝鮮の非核化に向けた交渉について「協議は順調に続いている。急いでいない。期限も設けていない」と述べた。長期戦も視野に入れているとみられる。

さらに北朝鮮の平壤近郊に秘密のウラン濃縮施設があるとの米情報当局の分析が明らかになり、非核化に向けた米朝交渉の焦点に急浮上してきた。北朝鮮はこの施設の存在を否定しており、査察に応じず疑惑を否定し続けられ、交渉は入り口から難航する可能性がある。

(2018年7月5日・公開フォーラム)

筆者略歴(やすお よしすけ)

1947年、山口県下関生まれ。中央大学卒。1970年、共同通信入社。大阪社会部、東京社会部を経て、81年韓国・延世大学留学。84年外信部。同年10月、ソウル特派員。89年外信部次長。92年バンコク特派員。整理部長などを経て2001年ソウル特派員。2002年秘書室長後、編集委員、論説委員。

公開講演会記録

日韓中ロ参加弁会社による

日本海横断航路の軌跡

NPO法人「北東アジア輸送回廊ネットワーク」副会長、理事 三橋郁雄



■北東アジアを貫流する時代の流れ

米朝首脳会談が開催、半島の非核化が確認され、北朝鮮の体制維持が保証された。今後北東アジアは緊張から共生の方向へ舵を切るのではないか。この数十年間、強い暗雲が垂れ込めていた日本海に日が差し始めたようだ。既存の常識を大きく覆す出来事、即ち、奇跡は起こったのである。問題は今後この奇跡は続くかどうかである。

これをこの200年前からの人間社会の流れから推論する。

歴史をたどり、どの時代をも貫流する現象を洗い出してみる。非核化がこの流れにのったものであればこの奇跡は続く

と考える。それには世界が過去不連続的に大跳躍した出来事、奇跡に注目する。

18世紀は欧州文明が世界で卓越していた。19世紀は帝国主義が席捲し、世界中に植民地が出現した。中国もインドも白人帝国主義の下、奴隷状態にあった。世界は白人の跳梁下の中で不安と疑心暗鬼に支配され、絶望と混乱の中にあったといえる。

しかしこれ以降近代は、次のような奇跡が生起している。

1868…明治維新成る。何故か日本は植民地化を逃れた。非白人国の独立確保は実質世界初である。これは強い不安と疑心暗鬼の植民地時代の中で希望の灯を点した。近代の幕開けである。ほぼ完全鎖国から一気に開国を行った。日本の

志ある者たちが世界の潮流を知ることができ、命を懸けて立ち上がったからである。

1905…日露戦争で日本が勝利、非白人国が白人国を打ち破ったのである。弱小日本は世界の強国ロシアに武力で勝利した。理由は世界の潮流、時代の流れをつかんでいたからである。

19世紀以降…科学技術が急速に進歩し、電気、機械、医学は国の生産力を高め、人口の急増を可能にした。科学の精神が多くの人々に真実を伝え、長年付きまとい離れなかった迷信を追放した。民衆が科学という武器を得た。不安からの解放、真実への透明化が一気に進んだ。

1945…核兵器の開発成功、日本への投下。これ以降、核兵器使用は人類の滅亡を招くとして戦争の抑止として機能

し始めた。強大同士は戦争をしたくても戦争を起こせなくなったのである。

1970年代…日本の経済復興、アジア開発銀行発足（1966）。戦争放棄の弱小国日本は武力に頼ることなく世界第2位の経済大国になった。武力がなくとも豊かになれることを示した。

1991…ソ連崩壊、冷戦終結。計画経済のソ連は平和裏に自由市場経済へ体制変更した。誰もが核戦争を予想していたが、時代の透明化の進展により西側の状況を見たソ連は、疑心暗鬼からの戦争遂行に陥らず、豊かな生活への指向を選択し、血生臭い革命を経ることなく体制を転向した。

2002…欧州通貨誕生（ユーロ）、欧州連合誕生（2009）。ドイツとフランスなどは長年の隣国同士の憎悪を捨て連携し通貨を一つにし経済的に一体化した。憎悪を捨てられるだけ相互の透明度が進んだことによる。

2010年代…スマートフォンによる情報通信革命。社会の透明化が民衆レベルまで世界的に一気に進んだ。相手事情が理解できることから、戦争の源である疑心暗鬼や憎しみの解消が進んだ。

2015…中国の経済復興、AIIIB銀行発足。旧時代のままと考えられてい

た中国が世界経済の中心に座り始めた。中国は毛沢東の主張する孤立政策を放棄し鄧小平の改革開放により世界経済との結びつきを強化し、日本なども積極的に援助し、国際社会との共存共栄に成功したのである。

このように世界の奇跡を見ると、その中を貫流するものが見える。

それは人々のより豊かな生活を望む姿勢と行動であり、かつそのために必要である社会の透明化の進展である。これが、近代人類社会の歴史の中を一貫して流れており、これに倅差す行為は排斥され、これを加速させる行動は勝利している。

より豊かな生活を望む姿勢と行動は、個人の中では成長を願う生活に、地域の間では雇用の確保に高い価値を置くものであり、何よりも子孫に平和な社会を残すことを究極の目標としている。このような方向に向けて社会は少しずつ前進しているが、本来的に強い従来の枠組みを乗り越えることは至難であり、結局、従来の常識を覆す行為・考えがエネルギーをためた上で突然爆発的に生じる、これで社会は一步上の階段に上がることができる。これが奇跡である。

朝鮮半島問題も、この観点から考えると、先ず北朝鮮は米国と戦争すれば全滅

することを承知しており、子孫のことを考えれば、この選択肢は取らない。従って自ら戦争を仕掛けることはしない。米国は北朝鮮を戦争で片づけることは韓国、日本の反対で戦争をすることはできない、北朝鮮の体制を温存させることは米国としては本来北朝鮮国民の選択の問題と考えており、これに深入りしたくない、ただ米国への脅迫継続は許せないなので核兵器の廃棄だけは認めさせる、という考えである。北朝鮮が現政権を温存させたとしても、上記に述べた時代の潮流は今後の時間の経過とともに必然的に北朝鮮の人々の考えを国際標準に近づけるので心配ない、と考えているのではないか。よって、米国は北朝鮮の体制温存問題にも譲歩したのであろう。

従って、朝鮮半島は今後緊張と恐怖の半島から、平和と協調の半島に向けて動き出すのではないか。

よって以下の出来事を新たな奇跡の一つとして記すことができる。

2018…米朝会談による朝鮮半島非核化始動。核開発を成功させた北朝鮮は米国と鋭く対立、核戦争の瀬戸際まで行ったが、しかし韓国の仲介で非核化を宣言した。

それでは次なる奇跡はいかなるもので

あろうか。

これからの10年の長期で見るとき、過去の出来事の延長として浮かび上がってくるのは次の二つである。

- ①北朝鮮の経済開発の成功・10年後には北東アジアの奇跡といわれるかもしれない。これは北朝鮮の平和裏の民主政治への転換を予想させるものである。
- ②中国における共産党独裁からの転換・世界の歴史ではどの独裁政権も、不正の跋扈・蔓延により最終的に行き詰まる。中国共産党政権が独裁による弊害から、社会の透明化進展に合わせ、国民選挙を重視する民主的統治にこの10年以内に平和裏に転換する可能性は高いと予想できる。

著者は20年前に新潟に着任してから上記の「時代を貫流する動き」を研究してきたが、貧困と緊張の海といわれ続けてきた環日本海北部地域はなかなかこの貫流にのらない。ついては、当然極めて微力であるが、共振現象を起こさせることができれば小さい力でも巨体は動くとの考えのもと、自らこの貫流をこの地域でさらに加速させる行動をとることとし、対岸地域と日本海で幾つかの取り組みをした。その一つを以下に時系列的に述べてみたい。

■北東アジア4か国合併会社事業の軌跡

1991年の冷戦終結以降、北東アジアは中国の昇龍の如き経済発展、韓国産業の飛躍的国際競争力の向上、ウラジオストクの近代都市への変貌など劇的に変化してきたが、その根本原因はこの地域で戦争がなかったことであろう。北東アジアは世界経済の牽引車といわれるようになっており、日本の果たしてきた役割も大いに評価されているのではないか。この地域の安全保障の仕組みは、現実は一触即発の緊張の連続であったもののそれなりに機能し成果を出してきたといえる。

我が国の日本海沿岸地域はこのような大変化の生起する状況の中、目の前の対岸との交易を促進する取り組みを積極的に続けてきた。成功したものもあり火傷したものも数多い。このような取り組みを重ねることにより、地域レベルで、地元レベルで、次第に対岸との相互理解が進展し、今日の状況出現の基盤を作ってきたと考えている。

このような取り組みの一つに2000年代初めから約10年かけて新潟で行われた「日韓中ロ参加」合併会社による日本

海横断航路事業がある。韓国からは地方政府が、中国からは地方人民政府が参加しており、当時、各国の強い相互不信が存在する中、それを共同事業の実施で払拭してしまおうと考え、社会制度の違いを乗り越えて行われた合計300万ドルの事業である。結果は4か国をつなぐ航路を国際フェリーが走った。歴史上はじめての北東アジア各国参加の事業であり、その主導を日本の中央政府、地方政府でない新潟の民間企業が執り行ったという意味で当時の日本の地方の元気を彷彿させる現象であった。本稿ではその軌跡を追いかけることとしたい。

1. 北東アジア輸送回廊調査

新潟における日本海横断航路開設の動きは、冷戦終結の後(1991)対岸貿易の振興を願う人たちから始まった。しかし1998年のロシアによる国家債務不履行(デフォルト宣言)でロシア経済が混乱、その成り行きが注目されたが、その後の世界的な原油価格上昇によるロシア財政の好転で航路開設は決して遠い先のものとは思われない気分を新潟地域の人たちに与えた。

1・1. 対岸大陸部における交通インフラ状況調査

↓北東アジア経済会議設置（1990年）。ロシア、中国、韓国、モンゴルなどを含む対岸諸国関係者の参加を得て、新潟地域は県が中心となって北東アジア経済会議を設置した。この会議の目的は、北東アジア経済圏の形成・発展に向けて具体的な論議・政策提言を行うとともに、会議の多国間協力体制を整え、各国関係機関・団体の継続的な連携・協力を促進することである。

↓環日本海経済研究所設置（1993年10月）。

主として新潟地域が主導して、公益財団法人環日本海経済研究所（略称ERI NAもしくはエリナ）が設立された。新しい北東アジア時代に日本海地域はいかに対応し、行動するかを研究する組織である。出捐団体は、新潟県、新潟市、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、群馬県、長野県、富山県、石川県、及び民間企業8社である。出捐金額約36億円。日本政府からの資金は入っていない。

↓北東アジアの輸送路調査始まる（1999年より国資金の投入もある調査）。

ERI NAを中心に、1993年～2004年2月まで対岸における物流調査が行われた。代表的なものは、

- 1996年経団連も参加して、ERI NAがザルビノ港の整備計画調査を実施した（公財）環日本海経済研究所「ロシア連邦ザルビノ港整備計画調査報告書」1996年11月。

↓北東アジア経済会議組織委員会の下に運輸物流常設分科会を設置（2000年6月）。

1・2. 北東アジア輸送回廊ビジョンの発表

↓北東アジア経済会議組織委員会運輸物流常設分科会が北東アジア輸送回廊ビジョンを発表（2002年1月）。

北東アジアの各国版も刊行した。

北東アジアが発展するために必要な交通インフラ（ルート）の優先順位を述べたものである。（図1参照）

↓今後は図們江回廊に重点を置く戦略を採用。

北東アジア経済会議組織委員会は北東アジア輸送回廊ビジョンの具体化に自らも乗り出すこととし、特に、2003年8月図們江輸送回廊に焦点を当てた国際会議を開催した。

1・3. 関係国での航路開設に向けての会議

↓関係国での航路開設に向けての会議。

- 2003年10月、琿春において「図們江輸送回廊活性化フォーラム」を開催。
- 2004年2月に、新潟において、「第2回図們江輸送回廊活性化フォーラム」を開催した。ロシア沿海州の副知事の参加を得て、ロシアの行政の意向を確認した。

●2004年7月、ウラジオストクにお

図1 北東アジア輸送回廊ビジョン



いて、「第3回図們江輸送回廊活性化フォーラム」を開催した。韓国も参加してザルビノ航路の問題点を究明、ザルビノ港において専門家会議を開催した。

●2005年10月、新潟において、琿春市及びザルビノ港両者によるザルビノ港ポートセールスを行った。

●2006年2月、琿春にて、中国側荷主とこの航路に関心を寄せる内外船社との意見交換会を行った。

●2006年5月、ザルビノにおいて、日本海横断航路開設に向けてのザルビノ会議を開催した。日本（ERINA）、中国（琿春市長）、韓国（東春フェリー社長）、ロシア（沿海州政府副知事）が参加した。

●2006年8月、ウラジオストクにおいて4か国会議を開催した。

●2007年2月、新潟において、4か国首長会議を開催した。新潟市長、琿春市副市長、東草市長、聖籠町長、沿海地方ハサン地区長が参加した。

2. 4か国合弁会社航路

2・1. 新潟の航路会社の創設

↓新潟に日本海横断航路に特化した会社を作った（北東アジアフェリー株式会社、

のちに北東アジアフェリージャパン株式会社（NAFJ）、更に2007年3月6日、新潟国際海運株式会社（NIS）に名称変更する）。
資本金1億6400万円、社長五十嵐純夫。

↓4か国共同フェリー会社創設のコンセンサス形成を図るべく大陸で関係各国を入れた会議を数回開催、その都度会議宣言を発表する。

●2007年5月、琿春にて関係者会議を開催、出資割合が議論された。

2・2. 4か国共同会社による航路開設 合意

↓4か国共同会社による航路開設合意。

●2007年7月、東草にて関係者会議が開催された。韓国・東草市長、東春航運社長、日本・ERINA理事長、中国・琿春市長、ロシア・BERKUT社代表者などが参加した。

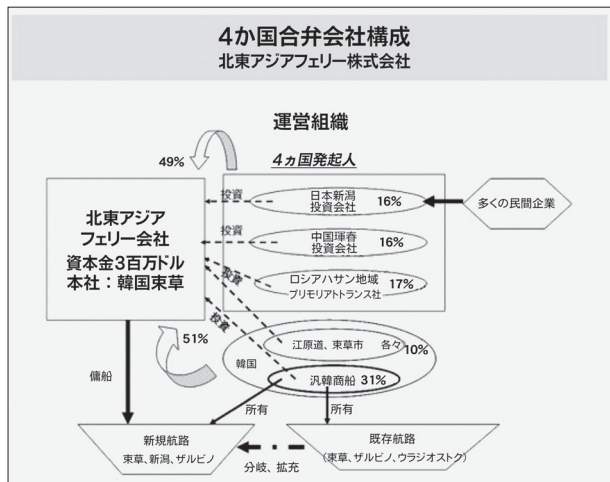
●出資割合が確定した。韓国51%、ロシア17%、中国16%、日本16%である。

（図2参照）

●2007年12月、延吉において、関係者会議を開催、4か国合弁会社設立契約書に署名した。

●2008年1月、延吉において、再び

図2 4か国合弁会社北東アジアフェリー（株）の構成



関係者会議を開催、新規航路開設のための投資額送金法、及び合弁会社設立関連事項を協議した。

↓韓国主体者（汎韓商船）とロシア出資予定者間で対立及び各国による資本金振込の遅延が発生した。

合弁契約書に出資金の振込期限が明示されていたが、各国それぞれ事情があり、その振込期限の変更を余儀なくされた。韓国、日本は2月20日の合意通り振込を終了させたが、中国とロシアは遅延した。しかし4月の段階で中国から、振り込む

旨の通知が来た。ロシアは中国が振り込めば必ず自分も振り込むと約束していたので期待したが、この段階でロシアベルクートの態度に異変が起こった。既存航路である東春号によるザルビノ→東草航路において、ベルクートがトラック輸送単価の引き上げを要求、それを汎韓商船が拒否したためベルクートが陸上輸送業務をキャンセルしたものである。

↓このようなトラブルの発生防止と調整のため、2008年5月ウラジオストクにおいて、関係者、及び関係自治体会議を開催した。

●参加者は、琿春市長、東草市長、江原道部長、新潟県副知事、新潟市副市長、沿海州政府代表者、その他関係者。

●4か国フェリー事業を支援するための、北東アジアフェリー地方政府協議会（仮称）を設置することで合意した。

↓2008年9月、ロシア側パートナーが変更になった。ベルクート社からプリモリアフトランス社へ。

↓2008年10月、日本の投資会社NAFJは試験運航を実施する。試験運航の出港直前浮遊油が見られるとして海上保安庁より足止めを半日食らう。

2・3. 4か国会社の創設

↓4か国会社（北東アジアフェリー株式会社 Northeast Asia Ferry, NAF）を創設する（2008年12月19日）。

●2008年12月16日、4か国会社、北東アジアフェリー会社（NAF）が設立された。本社は韓国東草市である。資本金は300万ドル（を韓国ウォンに換算した額）である。社長は白晟昊（東春フェリー社長でもある）。

●2008年12月19日、設立による株主総会を開催、2009年1月9日に理事会を開催、事業計画やフェリーの確保について検討した。

↓航路開設に向けての準備。

●2009年2月16日～17日、新潟で一般人向けの「北東アジアフェリー説明会」、及び行政レベルで「北東アジアフェリー就航を目指す関係首長会議」を開催した。参加者は、北東アジアフェリー社長、東草市長、琿春市長、プリモリアフトランス社長、新潟市長、新潟県部長などである。

●2009年2月27日、ソウルにて理事会を開催した。用船するための船が見つかるまでの暫定措置として、NewDongchun（新東春号）を使用した、ザルビ

ノ↓新潟↓東草の運航（準備運航と称す）を検討した。

↓2009年3月30日、準備運航を実施した。

●実施期間…2009年3月30日～4月2日の4日間。

行程…ザルビノ港↓新潟港↓東草港。負担金…日本側はNAFJが、韓国側は東草市が、中国側は琿春市が、ロシア側はプリモリアフトランス社が、各々用船料の4分の1を負担する。NAF本社は、このイベントは関係自治体への配慮という政治的意味合いだけで実施するのであるから、負担しないこととなった。

↓理事会で4か国航路開設を決定した。

●2009年6月5日、ソウルでNAF理事会が開催された。

①就航式は2009年6月29日（月）午前11時東草港で行う。

②就航船舶は「Jaodong Pearl」2隻、近日中、契約を確定する。

2・4. 航路開設と休航

↓航路開設と休航。

●2009年6月15日、NAF本社から、船主が正式用船契約書にサインすること拒否した（理由は中国許認可官庁の了

解が取れない)旨の連絡が入った。仮契約段階であるが、用船契約上の重大なミスが発生した。

● 6月17日、NAF本社は方針を変更した。Jiaodong Pearlの用船は諦める。しかし就航日の変更はあまりにも突然の出来事なので不可、6月29日の就航式はNewDongchunを使ってワンラウンドだけ行う。実際の運航は1か月後の7月29日より、Queen Qingdaoを使って行う。

● 6月29日、NewDongchunを使った就航航海のみが実施された。

● 新たな用船をする(2009年7月)。
7月17日、Queen Qingdaoとの用船契約書調印、用船期間は2か月とし、用船開始は7月25日、返船期日は9月19日。
貨物積載量・182TEU(容量)
旅客定員・750人

↓日本海横断国際フェリーを走らせる。

● 7月25日、定期運航開始。第1週は実施。

● 8月3日、第2週に入るとき、ザルビノ港においてタグボートの準備ができないこと、及び束草港の保安体制の不備が行政から指摘されたことで、第2週をキャンセルした。

↓Queen Qingdao号の返却。

● 9月9日、ソウルでNAF理事会、株主総会。

● Queen Qingdaoはコンテナ貨物の集まりが悪いことから若干返却日を繰り上げて9月11日に返却することとした。

● 運航実績。

第1回目…7月28日～8月3日

第2回目(キャンセル)…8月4日～8月10日

第3回目…8月11日～8月17日

第4回目…8月18日～8月24日

第5回目…8月25日～8月31日

第6回目…9月1日～9月7日

● 航路ルート(時刻は日本時間)。

束草発(1日目正午)↓新潟着(2日目午後2時)↓新潟発(3日目午前9時)

↓ザルビノ着(4日目午前9時(現地時間午前11時))↓ザルビノ発(4日目午後2時(現地時間午後4時))↓新潟着(5日目午後2時)↓新潟発(5日目午後7時)↓束草着(6日目午後9時)

↓フェリー運航休止(2009年9月)。

● その理由。

①用船期間は用船料が高い(足元を見られたこともあり)のでわずか2か月しかとれなかった。

②そのためもあり貨物が集まらない(そのほか、運航期間が短いので近い将来

の予約が取れない、第2回目の航海がトラブったなど)。

③中ロのそれぞれの関係会社とNAF社長白との反目が発生した。

④4か国会社を各国自治体が支援すると覚書があるにもかかわらず各国はこれを無視した。

↓NAFの本社(韓国)と中国、ロシアが代理店業務の受託で反目した。

● 6月19日、韓国本社が日本、中国とロシアの理事(株主でもある)に対し、それぞれの国における船舶代理店、貨物代理店業務のあり方を指示した。日本は従来からいずれもNAFJが受けることとなっており指示もその通りであるので問題ない。

● 6月20日、中国理事より、中国における代理店指名を中国理事側の意向を尊重しないで本社が決定することは認められない旨の通報があった。

● また、6月22日、ロシア理事よりロシアにおける代理店指名をロシア理事の意向を尊重しないで本社が決めることは認められない旨の通報があった。

↓NAFJにおける北陸地方整備局からの受託調査・社会実験の一部実施。

● NAFJはこのフェリー定期便を北陸地方整備局からの受託調査である社会実験(正式名…日本海横断国際フェリー航

路社会実験)の前半部分として活用した。

●後半部分は2010年3月、NAFJが国際フェリー(船名ユートピア2)を用船すること(用船先:新日本海フェリー)で対応することとし、敦賀↓ウラジオストク↓新潟と走らせた(最終終了は2010年3月)。

↓新しい中古フェリー(飛龍21)確保に向けての取り組み

●9月1日、次の用船候補である日本政府(鉄道・運輸機構)所有船「飛龍21」について日本理事とNAF本社が協議。用船のための修繕費は1・5億円程度に抑える必要があることを確認した。

●9月9日、ソウルでNAF理事会、株主総会。次の用船候補である飛龍21の獲得には、修繕費1・5億円の資金調達が必要になるが、NAF本社および参加各国はその調達に向けて最大限努力することとし、その代わり日本側は必ず船を調達すべし、との決定がなされた。

●NAFJはNAF本社と協議のうえ、この飛龍21を適船と判断し、種々の協議を経て、鉄道・運輸機構との間で落札まで行く(その時点で取得はしていない)。

●2009年10月18日、NAF理事会を延吉において開催。

飛龍獲得には修繕費1億5千万円(1

50万ドル)の資金が必要であり、その調達方法について議論した。NAFが3分の1、NAFJが3分の1、残りの3分の1は新潟県、新潟市に要請することが決定された。総額は1・5億円とする。

↓新潟県への資金の支援要請。

●2009年10月14日、日本側は飛龍21の確保のため、新潟県へ資金支援の要請をした。

↓新潟県の拒絶と対案提示。

●同年11月、新潟県から、資金の支援はできないとの回答がなされた。

●修繕改造のめどが立たず獲得を諦める。

飛龍21獲得戦術は挫折した。

●県知事は資金を拠出しない代わりに対案を用意した。県が今後は表に出て動きたいというものである。

↓新しい船舶確保の失敗。

●同年12月24日、ソウルにおいてNAF理事会。日本側が県の了解を得られなかった旨報告した。他の国も同様、資金負担はできないと回答した。新しい船舶確保は失敗した。

↓NAF会社の初年度の決算株主総会。

●2010年3月30日、株主総会と理事会を同時開催、開始年度の営業報告書を説明。

●Queen Qingdaoは6航海行った。

●1号議案貸借対照表、監査報告、いずれも承認された。

●その他として、予定より大幅に遅れたがQueen Qingdaoは1週間前に返船した。この結果係留費が700万ウォンかった。未払いのため、仮差し押さえをされてしまったことによる。

↓NAF会社の清算決議。

●2011年3月末、4か国会社は清算決議する。

(2018年5月31日・公開フォーラム)

筆者略歴(みつはし いくお)

1970年京都大学工学部修士課程修了、運輸省入省。運輸省第一港湾建設局長(日本海沿岸港湾の建設)、公益財団法人環日本海経済研究所(ERI NA)特別研究員(北東アジア地域の交通インフラ調査研究に従事)、新潟国際海運(株)専務(日本海横断航路の開設等に従事)を経て、現在NPO法人北東アジア輸送回廊ネットワーク理事(副会長)。平成14年神戸大学より工学博士号を授与さる。

東京幻視芸能考

記録作家 石飛 仁（会員）

其の二

一、江戸幕府の統治システムを支える 補完していた仏教と江戸町人文化

私は、先月号に引き続き、江戸数奇文化を手繰り寄せながら、今日ますます見えにくくなっている江戸町人文化の気脈を抉りたいと思います。上下の階層が明確になっていく江戸幕藩体制ではありませんが、その早期には、文化と権力は大混戦状態（あふれる浪人と岡場所と新興商人の醸し出す闇の世界）にあったことは、明暦の大火を取り上げて捉えてみました。同じく江戸早期のことですが、

徳川家康と組んだ、天台宗の怪僧、天海僧正（天文五年（一五三六）に生まれ寛永二十年（一六四三）百八歳で入滅）について少々触れておきたいと思っています。

徳川家康の側近として政策立案にあたり、その死後も二代目秀忠将軍、三代目家光将軍に仕え、对朝廷政策、对宗教政策に辣腕を振るったとされる天海僧正のことは、落せないと思うからです。江戸幕藩体制は長い平和の時代だったと規定できますので、その時代を底から支えることになる江戸町人文化の主力・歌舞伎など芸能文化が、いかに江戸幕藩権力に保護されながら人気を絶やすことなく続いていくことになるのかを考えるときに将軍側近の天海の策術は、なかなかのものであったと思われるのです。小江戸の川越「喜

多院」から、江戸権力の中核江戸城に入り込むその力量はなかなかのものとされます。天海僧正は、江戸幕藩体制確立の諸政策のうち、二つの政策にきわめて大きな役割を果たしていました。川越の数奇文化「喜多院」（関東天台宗の根拠寺院）を再興（慶長四年（一五九九）した後、彼は、家康の側近として遺言場面に立ち会っています。そして元和二年（一六一六）家康逝去の後も、神道による葬式差配をめぐって論争して神道式を後退させて、仏教式を押し出して、日光東照宮の陽明門を建立します。江戸城を中心にした「のノ字」の掘割り構想や、風水による江戸街づくり計画に首を突っ込んでいます。そして、上野に寛永寺を寛永二年（一六二五）に創建してい

東叡山寛永寺全圖

(玉蘭齋橋本秀畫
植邨正義賛)

東叡山寛永寺藏

①寛永寺・台東区上野公園内にある。天台宗の東の比叡山として東叡山の号がある。寛永二年（一六二五）天台僧正開山、徳川氏の菩提所。

ます。[図①]

その門主を京都御所の天皇の代理人として、江戸幕府お側に着任させる策をとるのです。寛永寺の輪王寺宮をその門蹟としたのがそれです。これは、京都御所（朝廷）の権威を、徳川幕府を守る役として飾りにするというもので、徳川幕府は、朝廷に対して、常にもが言える超権力だという姿を、天下に示そうとするものでした。京都の二条城と御所との関係を、さらに江戸幕府の足下にも再現するということです。

上野の不忍池を琵琶湖に見立てて、東の比叡山として上野の山に寛永寺を建て、江戸城に対して、上野の山にもう一つの御所として輪王寺宮を置いたのです。さらに、宗教政策の方は、なんととってもキリシタン禁制についての意見具申です。江戸幕藩体制の確立のために次ぎ次ぎに強権をふるう徳川幕府の影に、天台僧正がいて、相談役としてなくてはならない存在となっていたのです。神仏習合ながらも、江戸時代の寺（仏教・数奇文化）の役割は、町人文化発展の場に食い込んでいます。各地の寺の本堂が、檀家制度と共に大いに活用されていたのも天台の意向ともいわれています。江戸時代の寺は、絵師が絵の大作を飾り、広く人々の

批評眼に耐えようという画廊の役割まで担っていたのです。先に進みましょう。

二、徳川江戸幕府成立と共に誕生している歌舞伎の祖・出雲阿国の登場

文献上、出雲阿国が最初に登場するのは、安土・桃山時代に盛んになっていた念仏踊り・ややこ踊りの時代です。「図②」慶長五年（一六〇〇）『時慶卿記』に「雲州ノ女樂参ヤ、子跳^{おどりかまち}仕」とあるのがそれです。それより以前に既に雲州（出雲のこと）の阿国は、座を組んで、念仏踊り・ややこ踊りをパトロンたちに披露して廻っていたという研究があります。ただ、この時代の新興旅芸能人の群像を、その生誕と死滅を特定することは、超有名な出雲阿国をしてもとても困難なことです。幕府將軍お抱えの文人ならば、文献にて特定はすぐに出来ませんが、時に神がかりとなる超俗にして、「化ける芸術家」である旅する芸能人の出自を特定することは、きわめて困難なことですし、あまり意味のあることではないのです。村や町を廻る晴れの日を招く祝祭芸能人にとって、重要にして名譽なことは、時代の風俗流行の圧倒的な流布に、自らの芸が絡まっていたかどうかが評価



（『卜養狂歌集』）

②念仏踊り・歌舞伎の合言葉は「夢の浮世じゃただ狂え」だったがその源流に念仏踊りがあった。『卜養狂歌集』より。

（評判）の別れ目なのです。

出雲阿国についての諸説で参考になる文献を掲げて、私の芸能観に戻りたいと思います。小笠原恭子著『出雲おくに』（中公新書）をまず紹介しておきます。

さて、西の京で誕生していた歌舞伎の祖、出雲阿国の登場時期は、東西武將最大の激突「関が原」（慶長五年（一六〇〇））の戦をピークにして、日本は、国内統一を目指しての大転換期にあたります。八幡太郎の戦国時代は、終焉を迎えていく時期にあたります。つまり、武將の浪人化が新しい時代を作り出していく時代に、歌舞伎の祖、出雲阿国は、登場しているのです。ですから、戦がなくなつて高級武將までが浪人化していく時代に、阿国歌舞伎が登場し、この二つは互いに結び合つて、かぶく者の文化として歌舞伎は生まれているのです。

御所（朝廷）のある京で、阿国歌舞伎（妓）が始まるのが、慶長八年（一六〇三）であり、徳川家康が、征夷大將軍として日本の最高権力者に上り詰め、江戸に君臨するのが、同じ時なのです。阿国歌舞伎はまず京で成立し、やがて徳川の天下、江戸へ上京することになるのですが、平和統一国家でなければありえない、朝鮮使が

初めて江戸に来た年、慶長十四年（一六〇九）のことです。ですから京都で一世を風靡した阿国歌舞伎は、五年後には江戸に至って、幕府のお膝元でかぶく者の芸から本流歌舞伎へと改良を重ねて、次第に江戸文化の中心に位置する国民劇へと昇華していくことになるのです。出雲阿国歌舞伎はやがて、もっと大掛かりな、遊女歌舞伎（寛永期一六二四〜四三に出現）に発展し、三味線を加えてエロスを強調

してたくさんの遊女歌舞伎が全国に流布します。幕府はやがてこれを禁止して、今度は、若衆歌舞伎に移ります。美少年中心の歌舞伎です。もともとは少年男色の芸人たちの伝統の発展です。大人の座長格（興業主）が、少年に軽業を仕込んで、華やかな歌舞伎舞台に仕立て直していきます。遊女から男色の演芸に移って、若衆歌舞伎となりますが、男色の公然化が過ぎて、遊女歌舞伎を禁止したように、若衆歌舞伎も禁止（承応一年（一六五二）となります。しかし、歌舞伎の魅力は平和志向社会には必要でしたから、少年の搾取を嫌う幕府の次の手は、技術主義の野郎歌舞伎を許可するものと変容します（野郎歌舞伎の許可は承応二年（一六五三）から、例の明暦の大火はこの四年後のことです）。「図③」

女の役を女形と呼び、男の役を立役と呼んで、男が男女に役分かれて、男は男らしく腹搔き切って見せ、女は女らしく恋の執念に泣き崩れ、極端な両極の性をデフォルメして芸の昇華を見せていきます。意外なまでに、男の女役は受けて、その芸は男によって磨き上げられ芸道を

築き上げます。男によって女より女らしくという芸が歌舞伎の本流として打ち立てられていくことになるのです。権力による性の管理が、遊郭の芸術化という特異な領域まで積み上げていくのと軸を同じくしていくことになるのですが、その完成（常態）は、元禄期（一六八八年〜將軍は五代目綱吉）まで待たねばなりません。話を急いで阿国歌舞伎誕生の話



二世団十郎の「暫」（『歌舞妓年代記』より）

③歌舞伎・江戸独特の荒事を創始したのは初世市川團十郎・市川家の祖先は北条氏康の家来だった武士。『歌舞妓年代記』より。
（出典：河竹繁俊著『概説日本演劇史』（岩波書店））

に戻します。

三、出雲阿国と花の浪人名古屋山三郎の結合するダイナミズム

ここでの注目は、戦国武将の浪人化に伴って、そのもう一つの出口が、芸能発展に彼らが寄与していたという点です。その歴史的意義を積極的に見ておくべきだというのが、私の芸能文化交流史の主張です。尾張の浪人名古屋山三郎と出雲阿国による歌舞伎の誕生という点に絞って見ておきたいと思います。

出雲阿国と歌舞伎の発生について、これを記した学術記録はきわめて希薄です。その理由は、度重なる火事による焼失や下賤の河原乞食説による軽視だけによるものではなく、鎖国へと舵を切る江戸幕府政策が、繰り返し出すキリシタン禁制の問題と関係があったと見るべきだという説を提示しておきたいと思います。秀吉によって始まったキリスト教禁止は、西の各藩の貿易促進のダイナミズムと重なっており、禁止の効果がでないどころか、禁止の裏をかくキリスト教は、相次ぐ隠れキリシタン大名の拡充として現れて、恐ろしいほどです。西欧との直接の交易が、アジアに進出する西欧文明圏の侵入

と、その侵食は、猛烈な勢いで日本に襲い掛かってきているのです。この市場開拓としてのアジア侵食は、戦国時代に乘じての進入です。日本国内戦争激発には西欧からの武器技術の移入（武器商人の活躍）という事実があります。銃器の移入事態は、止めようもない大きな流れになっています。キリスト教は信仰の移入ということですが、戦争拡大の武器の輸入による各藩の密貿易拡充競争は、中央政府確立には最大なる障害ですから、キリスト教を禁止するという政策は、秀吉から徳川政権への重要な統一政策としての政策となっていくのです。ですから、大変ダイナミックな歴史の転換期に出雲阿国の登場はあり、戦国大名の下克上と、その変転にからみあっての、一大文化現象が巻き起こっている時期だと考えられるのです。

高貴武将の浪人化と、阿国歌舞伎の結合が、京の加茂川河川敷での仮設ステージでスパークしたその背景には、キリスト教の影響とその禁止が熱風を巻き起こしてのことだと見なければならぬのです。カトリック布教（聖史劇）と、その禁制の裏には、歌舞伎の誕生と深く絡んでいたということを強調したいのです。少ない史料を嗅ぎまわって、扶け開ける

ようにしないと、禁制のカトリック布教劇における歌舞伎創生期の関係Xは、見えてはこないのです。京にわけ入る浪人名古屋山三郎と、その影響で出雲阿国歌舞伎が誕生することは、たとえ記録がなく消されてきたとしても、事実としてあったと私は断定したいと思います。私は、私なりに幻視する力を発揮すべきだと思つてのことです。これをやっておかないと、もう一つのわがテーマ、現代東京の夢の共同体「蟻の街」（昭和二十五年（一九五〇）隅田公園内に成立）の存在証明も出来ないことになり、戦争の反動として生まれた共同幻想の実話が、消されてしまうことを危惧するのです。

四、亡霊として美男名古屋山三を呼び戻した心霊阿国歌舞伎の熱い作劇

ヤンヤの喝采を贈って、阿国歌舞伎の誕生を支えたのは、紛れもなくかぶく（傾く）浪人たちでした（作家丸谷才一氏によると、「かぶく」はバロックの翻訳のことです）。手柄を立ててきた名將たちも、戦争がなくなると、風流を遊ぶ花の浪人となる道しかないという時代になります（図③を再度ご覧ください。他に「洛中洛外図屏風」にその風俗が遺

憾なく描かれています)。

武将は都に出て花見饗宴して芸を持つ女流と遊びまわるのです。一人で何人も殺した槍の名人も、殿からの殺戮要請がないのであれば、もう腕を振るうことが出来ません。出雲阿国と絡む話は、伝説でしかありませんが、実物名古屋山三郎についての経歴は、わりとはっきりしているで、まず述べておきます。父親は尾張国(名古屋)那古野因幡守高久で、かれはその次男です。母は、信長の姪養雲院で、幼いときから唄と舞踊を習い、美少年としてたくましくも育ち、十五で、キリシタン大名高山右近の臣下、蒲生氏郷に見いだされ、小姓となります。蒲生氏郷が秀吉の軍とともに北条小田原城を攻めたとき(天正一八年(一五九〇))、槍の山三として武勲を挙げ、九州征伐、陸奥名生城攻略、九戸政実の乱鎮圧(実質天下統一なる)で、いずれも一番槍で戦功を上げ、二万二千五百石を与えられています。美男で槍の使い手として名だたる武将となっています。槍の山三が、自前の武具を着て戦陣へ切り込んでいく姿が、次のように伝えられていますので紹介しておきます。《白綾に赤裏つけたる具足下に色々の糸をもて威したる鎧を着け、小梨打の甲に猩々緋の陣羽織を被り

手槍り掲げて城内へ駆け入り一番に槍を合わせて大勢の敵を追い散らし好し首一つ討ち取りたる軍功》と、流行り唄にまなっている槍の山三です(出典『歌舞伎人名事典』より)。しかし、主君の蒲生氏郷が死亡(一五九五年)すると、浪人となって京に出ます。で、出雲阿国と夫婦になったという説が生まれますが、実際は、阿国がこの美男の死(慶長九年一六〇四年)を悲しんで亡霊として舞台上上げるシーンとなって亡霊劇が生まれそれが

大うけして、出雲阿国歌舞伎を不動のものにしていたのです。

浪人となった育ちのいい高貴なる名古屋山三郎が、鑑札持った旅芸人と戯れるのは、やんやの喝采を受けての憂さ晴らしだったのでしょうが、そこには芸のぶつかり合いがあつてのはなしだと私は解釈しています。京の清水橋五条での阿国歌舞伎は、町に繰り出した花の浪人の群れに、後押しされて、即席野外ステージから、劇場スタイルの屋根四柱のある固



④出雲阿国・徳川美術館『采芽女歌舞伎絵巻』より、これが出雲阿国とされている。

定劇場へと発展し、ついに北の天満宮の常設公演で、一世を風靡します。そして、先で触れたように江戸に上って天下一の名が付くのです。

使い道を失った御殿（各地の大名屋敷）の中のきらびやかな軍装が、旅回りの貧しい一座に惜しげもなく持ち出されて、衣装調度が舞台に栄えて、もう一度舞台の肉体を通して亡霊として美しく生き返るところを見せたのが阿国です。この現象（再生）は、クリスタン大名の教訓たる舞台劇キリスト復活史劇の教会劇（ミステリョ劇）と重なっているのです。

伝えられる出雲阿国の舞台衣装をご覧ください。〔図④〕

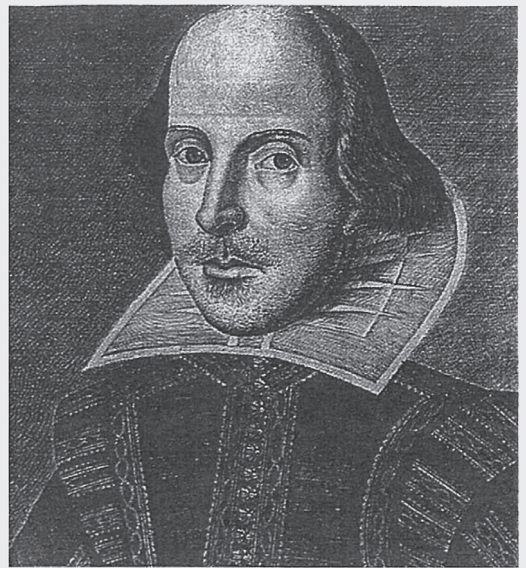
高貴な武将しか持つことの出来ない、飾り脇差しに、真珠で出来た十字架、水晶の首飾り、絹紐で締め上げられた腰し帯には、年季もののひょうたんがずらりと飾られて、意表をつく豪華絢爛たる品揃えの男装ぶりです。

五、西にシェイクスピアが登場し東に出雲阿国歌舞伎が誕生していた世界的性

異相のいでたちで女だてらの芸者上げてのお茶遊び、もともとは、出雲阿国は杵築大社（今は出雲大社）から来た、歩

き巫女だという説（鍛冶屋の娘）があります。人を集めてお札を買ってもらい、お社の遷宮の一助にと、身をささげた興行者だったというのが出雲阿国説です。京の町にあふれる、かぶく者らの憂さ晴らしには、拝借した長差しを用いて男伊達、倒錯のエロスが飛び交って、阿国の舞台は当たり前でしたのです。歩き巫女この大変化には、大津波のように西洋から押し寄せていたバレン布教の宗教劇を、

阿国自身が覗いたことからくる影響だとする丸谷才一氏は卓見です（この件は服部幸雄が取り上げています）。文献裏付けは乏しいとしてもこれを、まったく無視することは出来ない話です。もともとは、前説したように念仏踊りやヤヤコ踊りの、田楽能舞いの民芸でしたが、国内戦争終結後の大変革期に、女が男の衣装に身を包んで、南蛮装飾の首飾りで、お茶屋遊びを演じて見せるのですから、その倒錯の魅力がたまらないと、花の浪人たちに大うけた評判は、天下人の耳にも達して御殿（後陽成帝の母君新上東門院の御所）にまでに呼ばれる人気となる



⑤シェイクスピア・シェイクスピアの演劇は弾圧を受けて一度は抹殺されたが、返り咲いた。（出典：ステファニー・ノーレン著『シェイクスピアの顔』バベル・プレス）

のです。「歌」「舞」「伎（ドラマ）」の基礎がここに出来あがっていくのです。

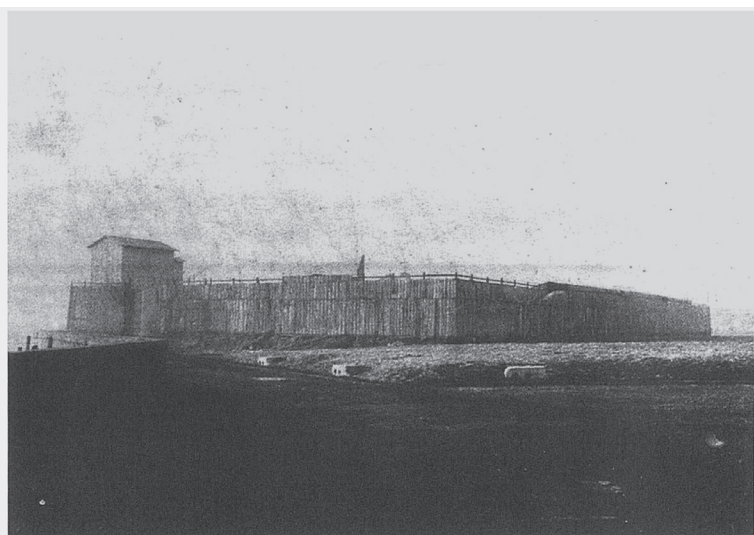
「生死」を賭けた、かつての武将の世界には「能による禅幽玄の世界」があったわけですが、新しい民衆（各種職人で構成され商人番頭が繋ぐ）の勃興によって、キリスト教宣教師の思惑までもがこれに絡んで、真性の日本文化の芸能にバレン劇が融合して異様な力に昇華していくのです。一方で、博打と盗賊に堕ちていく、元武士たちの闇への回路を、逆手にとって華やいだ歌舞音曲の世界に引きずり込んでいく道も、ドラマ（狂言）化への道として深まっていくのです。不

平不満の悪態は、芸にも昇華していく文化があったことです。

だから、その芸能の誕生には、怒涛の時局が絡まっていた、その諧謔が、ついには、女形完成の野郎歌舞伎の許可（合法化は承応二年（一六五三））を成立させるまで発展していくのです。

歌舞伎が、江戸開府から五十年後に、ようやくにして国民劇に

までなるには混濁の深く大きな時代が必要だったということでもあります。この歌舞伎の祖としての阿国の登場の時期は、丁度、ヨーロッパイギリスに誕生した大劇作家シェイクスピア（一五六四～一六一六）の登場と重なっていることを申し上げて、信仰する神名は違っても再生を亡霊として舞台にのせているという共通



「アリの街」全景（板塀で囲まれている）

⑥蟻の街・東京大空襲で焼け出された一家と外地からの引揚者の共同体が隅田川川端で誕生した。自主管理のコンミュンだった。

の作劇があったことに触れておきたいと思えます。〔図⑤〕

世界に誇る大劇作家になっていくシェイクスピアが亡霊を仕組んで劇作しているように、同時代の、阿国も死んだ美男の槍の山三を舞台上上げて共に舞うという作劇をして、世界的な演劇へと押しあげています。その神がかつての双方の演出は、舞

台を心霊の舞う磁場として東西の演劇は、共に情念を昇華させて今に至っているのです。

さて、私の次の話は、現代に飛んで、大正・昭和初期に活躍した劇作家松居松春（翁）の息子であり、歌舞伎の革新者、名優「市川左團次二世」の生涯を書いた後、松竹派遣の演劇人として、台湾演劇

界で活躍した奇才、松居桃楼（明治四十四年一九一〇年東京生まれ名門の演劇人）に登場を願うことにしたいのですが、それはまたの機会にいたします。廃墟の東京、敗戦五年目、昭和二十五年（一九五〇）一月のバタヤ共同体「蟻の街」ができていました。〔図⑥〕江戸の町人文化をひきづったようなその存在は、隅田公園（台東区）内の一等地にカトリック教会を立て「蟻の街のマリヤ（北原怜子）」を押し立てて大東京と渡り合って行く仏教徒（上野寛永寺管主によって帰依している）松居桃楼の粹な戦いは、大いなる実話なのですが「東京幻視芸能考」は、ここで一旦終わりといたします。再見

筆者略歴（いしとび じん）

記録作家・「女性自身」シリーズ人間専属記者30年を経て現在フリー。

1942生まれ。ライフワークは、1972年から取り組んできた秋田花岡鉱山中国人蜂起「花岡事件」。1984年からは企業交渉を開始し、対政府交渉もおこない「日中平和友好基金」を提起し現在に至る。代表作『風の使者ゼノ』『夢の砂漠』『中国人強制連行の記録』等多数。

漢詩に親しむ 其二

いろいろもの

音曲 漢詩を唄う

藤木英夫（会員）

漢文は難しい。散文では文の切れ目も明示されていない。訓古学（古典漢文の解釈学）の半分は、漢字の羅列に句読点を付ける事だと言われているらしい。古典漢文に様々な解釈があり、時に正反對のものが混在しているのも宜なるかなである。

同じ漢文でも、漢詩、特に絶句・律詩等の定型の詩（近体詩と呼ばれる）は事情が違う。掛軸等で見えるように例え二十八の漢字が羅列されているだけだとしても七言絶句である事が分かってさえいれば、小さな切れ目・中くらいの切れ目・大きな切れ目が分かるからだ。次のようになる。

○○○○○○○、○○○○○○○。
○○○○○○○、○○○○○○○。

作詩者はこの約束のもとに作っているのだから、読み手はこの約束のもとに読めばよい。それぞれの漢字一字一字を思い浮かべながら二三のリズムで、（日本語の）音（オン）で読んで行くのだ。そのように読んでみると、多くの詩が驚く程素直に読みとれる事に気がつく。もち

ろん、知らない漢字が使われていたり、知らない典故（故事の引用）があったりした時にはそれを調べた上での話にはなる。だから、新しい漢詩に出会って、そのまま読みとれない時に、まず行うべきは漢和辞典を引く事なのだ。注釈や翻訳を参照するのはその後の事だろう。始めから訓読（これは一種の翻訳であり、更に元詩のリズムは失われている）に取りかかるのは、注釈者のフィルターを通す事になり、解釈も味わいも大いに狭まり、かつ薄まって、いかにももったいない。

ところで、この（二三）×四の形式は楽曲の「二部形式」と全く同じ構造をしている（「二部形式」については次頁の音楽教科書のコピーを参照して頂きたい）。この事は、ここで述べた音読法を更に楽しいものとする。内容に合うようなメロディに乗せて、その漢詩を音読するのだ。二部形式の楽曲は世の中にあふれている。手許の唱歌集をめくると、半分は二部形式、「春の小川」、「夕焼け小焼け」…。唱歌ばかりではない、美空ひばりの「悲しい酒」、カントリー「マンション オン ザ ヒル」、モーツァルト「春へのあこがれ」等々。試みに蘇軾の「春夜」（次頁参照）を「花」（春のうらの隅田川…）に乗せて、漢字を思い浮

かべながら唄ってみて下されば楽しさを納得されるだろう。

私が作詩を始めた頃、気入りの歌の詞を、習作がてら絶句に直す事を試みて、その詞の音律から「これは日本語の七言絶句だ」と感じたものがあり、面白くは感じたが、深くは考えずそのままになっていた。実は、昨年同年の仲間三人で伊豆七島の一、利島へ旅した。その内の一人松籟（号）氏とは以前から、氏は短歌、私は絶句を作り、やり取りを楽しんでおり、この時も、私は旅の印象を五言絶句二首にして松籟氏に送ったところ、何とその二首分も含めて、短歌ではなく、二十二番まである「鉄道唱歌」の替え歌が返って来た。私は大慌てで、それらに対応する絶句を作らざるを得なくなった。さて五言絶句二十余首が出来上がってみると、当然の事ながらメロディに合わせて唄いたくなる。そこで初めて、ここで述べた二部形式の楽曲の構造を意識するに至る。五言絶句では対応出来ない、大改造して出来上がったのが、其一（本年3月号）の冒頭でふれ、次頁に六番までを、松籟氏の詞と共に載せた絶句である。

七言絶句でなければいけないのだ。曲も詞も、楽曲の、そして日本語の七言絶句なのだから。

楽曲の二部形式の説明

下総皖一他編 高等学校用音楽(中教出版1958)より抜粋

楽 式 (Musical Form)

1. 動機 (Motive)

楽曲を構成する単位のもっと小さいものは動機で、これは普通2小節から成り立つ。

2. 楽節 (Phrase)

動機が二つ続いたものを小楽節という。小楽節は普通4小節で成立する。

3. 大楽節 (Period)

二つの小楽節を大楽節という。つまり大楽節は、前楽節と後楽節の二つから成り立つのである。

小さな楽曲は、この大楽節だけでできているものもある。また大きな楽曲も、いくつかの大楽節が合わさってできるものである。

4. 一部形式

一個の大楽節からできている楽曲を、一部形式という。「春が来た」はこの例である。

5. 二部形式

原則として二つの大楽節からできていて、各々の大楽節が完全終止になっている。従って16小節から成り立つのである。



*「完全終止」等は各楽節の終りの和音の進行の型の事

春夜 蘇軾

シュンショウイコク チセンキン
春宵一刻値千金
カクウ セイコウグツユウイン
花有清香月有陰
カカン ロウダイ セイセキセキ
歌管楼台声寂寂
シュウセンインラク ヤ チンチン
鞦韆院落夜沈沈

現今の電子辞書の漢和辞典なら
手書き入力で検索すれば、
スイッチオンから1分程度で、
鞦韆がブランコ、
院落が中庭、である事が知れる。
訓読を読んだり、注釈を見るのは、
そうやって
内容を、ほぼつかんでからにしたい。

伊豆七島航路唱歌

一 鉄道唱歌のメロディ (多 梅雅 作曲) に乗せて一



一

汽笛一声竹芝を
はや我が船は離れたり
東京タワーにかかりたる
月を旅路の友として

二

ベイブリッジの下くぐり
赤灯台を右に過ぐ
横浜の街一望に
大栈橋に着きにけり

三

デッキに出れば風寒し
雲は次第に紅に
水平線のかたより
金色の道日は昇る

四

岡田の港は夜明けにて
光輝く新緑の
崖間近なる岸壁に
船は回頭近づけり

五

次第に迫る宮塚の
山すそ海に落込て
汽笛二声尾を引いて
利島の港に船いりぬ

六

昨日登りし山頂を
海の上より仰ぎ見る
船尾に白き泡の道
利島の港を離れ行く
(松籟)

一

汽笛一声鳴竹芝
我船知已栈橋離
高懸明月東京搭
出現旅中同伴姿

二

通過湾橋仰白姿
赤台一看右塘陂
眼前入望横浜夜
今は抛錨大栈橋

三

黎明船上依寒風
灰暗雲霞漸漸紅
遙海来昇日丸大
下看金道渡波通

四

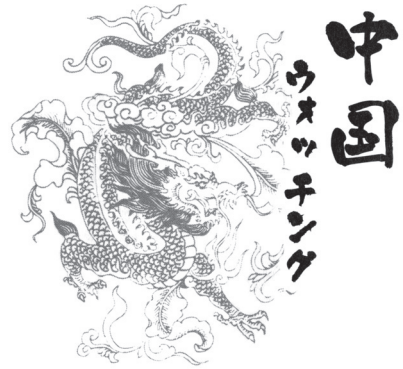
終于来到岡田港
新緑晨光照映浮
前面懸崖来近迫
船随岸壁転回頭

五

漸迫眼前宮塚山
麓裾直接海中間
両声汽笛吹長響
終到吾船利島湾

六

昨日登嶺陽緑暉
如今海上仰望帰
船行留下白波道
眼裏山容漸漸微
(遺峰)



編・訳 上松玲子

受験高を選ぶわけ

河北省のある受験生と親の動画が話題になっている。受験が終わったら一番にやりたいことは、「骨付き肉や魚をゆっくり食べる」とだ。受験生は答えた。受験生の食事時間は移動も含めて8分しかないのだ。

河北省の衡水高校、安徽省の六安市毛坦廠高校などは徹底的に大学受験対策に特化した教育方針の学校の象徴として、「受験工場」（原文：高考工廠）と呼ばれメディアの注目を集めて

いる。全国の多くの高校が衡水高校の教学モデルを真似ており、2校の分校は遠く雲南省までも開校されている。

衡水高校の教学モデルは青少年の個性を潰している、才能を育てるという教育の主旨に反しているなどと批判されている。個性や才能を育てる教育を受ける機会に恵まれた第一級の大都市部の住民は、時代錯誤、理想の教育とは程遠いと怒りさえ示している。

だが、メディアに「工場」と揶揄されても、彼らのやり方は広く社会の支持を受けている。教育環境、教育資源の整った地域の住民ではなく、さりとて子どもを国外に留学させられる経済力がない親たちにとって、衡水高校の教学モデルは低コストでありながら、教育の平等を実現するモデルだと言うのだ。

教育改革が進まないことも衡水高校に支持が集まる要因だ。大気汚染下の空気清浄機のように、教育問題の根本的解決がなされない中、庶民がすぎる選択肢なのだ。

さらに、衡水高校モデルに反対の立場をとるべき大学が事実上黙認している。一部の大学から「優秀学生輩出校」のパネルが両校に授与されているのだ。

結局、多くの人が衡水高校モデルの価値を認めるのは、教育理念を選択したのではなく、現状理想の大学への進学という結果を勝ち取るための手段として選択したという実利主義にすぎないのである。

『光明日報』2018年5月15日

中国の親に足りないもの

中国の親は子どもに対する関心が高いと感じる。ところが、中国青少年研究センターが中国、米国、日本、韓国の4か国の比較調査を行ったところ、中国の親は家庭支出額に占める子どものための支出比率が最も高いにもかかわらず、子ども側が感じる親からの愛情の支えについては4か国の中で最もポイントが低かった。

数年前、北京大学の徐凱文博

士が大学1年生を対象に行った別の調査によると、30%が学問を嫌い、40%が新生活に意味を感じられないと答え、生きる意味さえ感じられない者もいた。

中国では親の愛情表現が不足しており、そのことがエリート大学の学生の中でさえも学問や人生の意味が感じられない子どもが相当数いることに繋がっているというのか。

調査では、中国の親は、子どもの声に耳を傾け、子どもを理解し、支持したり時には褒めたりするという態度が平均よりも低い。逆に批判をするのは4か国で最高である。

中国の親たちは子どものためなら何も惜しまないだろう。ただ、功利主義を脇に置いて、子どもの良い所を見るようにすればいい。成功しようが失敗しようが、気持ちの上ではいつも子どもの立場に立って寄り添えばいいだけなのだ。

『新京報』2018年5月16日

省境の見えない壁

社会全体の物流コストを一層の低減のため、国務院常務委員会では高速道路の省境の料金所の廃止が議論されている。

近年、高速道路網の拡充により、一つの省を出るとき、また、次の省に入るときそれぞれに料金所や通過ゲートがあり、省境での料金所の密集が交通の妨げになっている。現在同一省内では通行証を取り直す必要はないし、技術上も全国規模の精算システムを使えば、全国統一は難しくはないはずである。

では、問題はどこにあるのか。一つには高速道路の運営管理の主体が各省にあり、事実上省政府に帰属しているため、大口の既存権益に対して改革の熱意や動機がないことだ。

さらに、実際料金所を廃止するとすると、料金所の職員の再配置問題や、減収に繋がりがかねない不正行為への懸念を払拭する有効な防止対策がないことが反対要因になることが予想される。

しかし、省境での料金所の密

集が直接的には物流コストの増大を招き、間接的には不明瞭な徴税や交通事故などの原因になっていることを考慮すれば、一刻の猶予もならない問題である。

『新京報』2018年5月18日

地下水の危機

今年5月スイスの地下水研究の権威、キンゼルバッハ氏が華北平原の地下水の危機が観測衛星からも確認されると警告を発した。

同氏は1979年から中国で地下水の事業に関わっており、当時は地下水水位も高く、地下水面も地面に近かった。1980年代になって、食糧生産に地下水灌漑が行われるようになり、水位は毎年0.5から1メートルの速さで減少し続けてきたという。

同氏がもとにしたデータは武漢にある中国科学院測量地球物理研究所の馮博士のグループの研究データであり、その研究は米国の衛星観測データに基づいている。

馮博士は、国が公表する地下

水データは比較的浅い層の地下水の状況であり、それによると華北地方での地下水の減少は毎年十数億トンということだが、衛星のデータに基づくと毎年60億から80億トンが失われており、そのほとんどが回復困難な深層地下水だと指摘する。

中国地質科学院水文地质環境地質研究所の石所長は、華北地方の一部の人口密集地では公共用水井戸の深度は500メートルの深さに達しており、数百万年前に形成された地下水が取水されており、化石燃料同様に再生が難しく、循環が遅いものであることから、厳格な管理がなされなければ、重大な結果がもたらされると指摘している。

『新京報』2018年5月28日

女性専用を考える

広東省広州市のプールに女性専用レーンができ、ネットニュースで全国に報道されると賛否両論巻き起こっている。

遊泳中に男性と接触したり、速い男性の邪魔になったりした

という経験を持つ女性は、安心して泳げると歓迎の声がある一方で、不公平、男性差別だという反発もある。

重慶市内のプールを調べてみたが、女性専用レーンを設けている所はない。人も多く、子ども用レーンもあり場所がないのも実情だ。

重慶のプールには女性専用レーンはないが、重慶では2014年から女性専用駐車スペースというのが登場している。明るい色の目印の少し広めのスペースだ。しかし、運用面では問題がある。男性が駐車しても注意する人はいない。女性専用ではなく、初心者用にしたらどうかという意見もある。

専門家は性別での区別よりも目的を考えるべきだという。女性用トイレを男性用よりも広めに設けても、これを男性差別だという人はいない。プールは公共の場であり、全ての人を犯罪者や不道德者のように扱うのは公平とは言えないというのだ。

『重慶晨报』2018年7月30日

コラム

《腰折れ文》 十二、

渡邊澄子（会員）

ニュースのスピードから遙かに遅れをとるのはこの種の文章の宿命で如何ともなしたい。モリ・カケ問題が文科省汚職の奥の深さを露呈し、天下り、セクハラの発覚、さらに沖縄問題とも相俟って、文科省だけではない「権力の内幕」（『東京新聞』）を知ると、「一強」の不条理が居たたまれない。「参院6増法」も「カジノ法案」も多くの反対を「安倍一強」で成立させてしまった。ギャンブルにはまって家庭崩壊、泣いて諫める妻へのDV悲劇が如何に多いか、家庭裁判所の調停委員から聞いたことがある。膿の根源は「一強」にあるが、うんざりするそれら諸問題から目をそらさせたのはサッカーW杯だった。安倍氏にとってW杯様々だっただろう。

世界の人々の耳目を集めたのはタ伊のサッカーチームのメンバー十三人の少年と男性コーチの洞窟閉じ込

め事件だろう。無謀な洞窟入りではなく、これまで何度も入っている子どもたちにとって興味深い場所なので無思慮と責められない。不運は想定外の大雨だった。これが世界平和に活かされたらと思わず思ってしまったが、救出に世界が知恵を出し合ったことはお見事だった。ぎりぎりの段階での全員無事奇跡の生還ニュースには思わず涙がこぼれた。救出に当たって犠牲となられた方、甚大な被害を受けた農家のことを忘れてはならない。それにしてもこのような状況下では僅かな食料（菓子）の取り合いでパニックになるのが普通だろう。コーチの冷静、沈着、伶俐な対応と、それに従った少年たちは素晴らしい。美談などと安っぽく語られてはならない。日本の閣僚や官僚の「お偉いさん」たちにはない人間の美しさで、心温まるニュースだった。

嬉しいニュースはまだあった。ノーベル平和賞を受賞しながら受けとりもできず服役中に獄死した中国の人権活動家・劉曉波氏の軟禁されていた妻劉霞さんがドイツに行けたことだ。米国との貿易摩擦という政治的背景があったとしても、ともかく渡独できてよかった。人質状態にある弟の解放が待たれる。時代の動きは目まぐるしい。お茶の水女子大がトランスジェンダー受け容れを宣言した。日本女子大・津田塾大・奈良女子大も本格的に検討中という。トイレと更衣室整備が女子大にとっての課題という。室生犀星は立って排尿したことのない人だった。問題は更衣室か。

女性にとってのグッドニュースも一つ。サウジアラビアで女性の運転の自由化実現だが、こんな時代遅れの国もあったのだとは知らなかった。颯爽と運転する女性の姿に拍手したい。

オウム事件十三人の死刑執行が二回に分けてあった。私は死刑反対論者だが、麻原以外の十二人の執行経緯は不明のまま。執行命令書に署名した上川陽子法相は前夜、議員宿

舎で開催のパーティで安倍氏のそばで平然と笑っていた。どんな神経の女性なのかと恐怖される。

日常的に酷すぎる目に遭わされ続けている沖縄問題を寸言で書くわけにはいかない。凄まじい西日本の豪雨には息を呑んだ。予報があったのに官邸では賑やかに宴会がなされていたとは！ 安倍政権の実相か。あつという間に激しい泥流に根こそぎ流され破壊され埋め尽くされる映像に震えた。まだ継統中だが巨大なゴミの山。ゴミはゴミなんかではない。大事な財産や生存になくてはならない資本だろう。もし、私が当事者だったら仕事に不可欠な書籍や資料がゴミにされたら生きてはいけない。家や財産を失ってこれからどうしたらよいのか。辛くて辛くて、涙も出ない。馬鹿げた多額の防衛費、「思いやり予算」、その他、無駄の多い腹立たしい税金の使い方を点検して、被災者の嘆きへの思いやりに廻して欲しい。ちょっと自己宣伝。安倍政権の歴史認識に対する無知・無恥への怒りから「負」の歴史を検証した『植民地・朝鮮における雑誌「国民文学」』を八月初めに刊行します。

陶々俳壇

ようよう

兼題「朝風」「車」
席題「丸」

歌丸や笑ひ残して旅立ちぬ
○キウイ棚甘く薫らす新樹風

橋本紅杓

朝風や孫ら駈け行くことまぶし

上野京

丸丸と水瓜美し金盞(まもる)

〃

闊歩する黒い眼鏡に黒日傘(紅杓)(宏太) 戸部まもる

朝風に日の出への路できはじむ(由紀子)

〃

アベック乗せて白南風の人力車

岡和水

○翡翠の瑠璃にきらめくダイビング

〃

つばめの子わが身に気力満ちてきて 佐藤若杉

この暑さ車ものたりのたりかな(和水)

〃

門前に人影もなし夏の昼

長野宏太

北陸の車窓いつぱい青田かな(京)

〃

○買物車ブレーキなくて玉の汗

鈴木南山

○朝風や社に詣でひた走る

〃

宅配車風鈴の音を聞き分けて

馬場由紀子

朝風や柱光らす糠袋(南山)

〃

☆最高点 ○由紀子選 (一)各自特選

選後評

馬場由紀子

梅雨あがる逢魔が刻の島の影

和水

梅雨明けの明るい夕刻の景である。明るいといふことは逢魔が刻のこと。つまりこの暗闇が迫っている。我らの祖先は、禍々しい、昼でも夜でもない微妙な刻に名前をつけて命を吹き込んだ。

日盛や丸で消え去る庭の影

宏太

真夏日の真昼間。太陽が頭の上から強い日差しを投げかけている。頭上から照りつける日差しに影も足元に小さく躍る。なかなか鋭いところを目を上げられている。

蜘蛛の囲や光の玉を飾り付け

紅杓

早起きして蜘蛛の囲を見つめる。レースのような蜘蛛の糸に朝露が光り輝いている。怖ろしい形態の蜘蛛だが、その棲み家は何と繊細に飾り付けられているのだと、暫し、作者は美しい自然に浸っていたに違いない。

草刈りの広さ自慢の夕餉どき

まもる

一日の終わり夕餉をとりながら、日中の草取りの苦勞を自慢げに話している。夫婦でどっちが多く草を刈ったのか自慢しているのかもしれないし、お手伝いの兄弟が競っているのかもしれない。いずれにしても微笑ましい景である。

炎天下サドルに尻を焼かれけり

南山

炎天下自転車置き場。熱の塊のようになっている。フレームに足が触れて思わず引込めることも。作者はサドルから伝わる熱をお尻で感じとっているのかもしれない。昨今の暑さにはこのくらい大袈裟な表現がピッタリだ。

朝風や別れし人の夢を見て

若杉

今日も暑くなりその朝、夢から目覚めた作者には、かつて別れた人の残像が残っている。いついどんな方だろうか。「朝風」の季語が使われているのだから、濃密な関係の人であって欲しいのだが。

打ち水や花も我が身も生き返り

京

昨今の日本の暑さはほんとに堪える。年齢を問わず油断をすると熱中症に罹ってしまう。作者も昼間の暑さを凌いだ後、日が陰ってきてやっと二息つけるようになったと、表へ出られたのだろう。

徒然草雑考

鈴木昭治郎

読み初めや徒然草を一日にて 戸部まもる

新春のこの句(本誌今年3月号)に当り愚生も岩波文庫の徒然草①(後記)を捲ってみた。名文だらけだが大部分は矢張り難しく、関連本②③④を図書館から借受け片腕とし、上面ながらやっと通読した。

序段と第一段は中学校で習ったので懐かしい。また北条時頼の母、松下禅尼の有名な障子張り替えの話(第百八十四段)は今も心打たれる。

ところで諸賢には旧聞かもしれないが、この度④で序段について新知見を得たのでそれを抄出する。それは第百三十七段「花はさかりに、月はくまなきをのみ見るものかは。」の注記に、私(兼好法師)は徒然草を後二条天皇の皇子、邦良親王のための帝王学として書き始めた。徒然草の最初が教訓的なのはそのためである。しかし邦良親王は正中三年(1326)27歳で亡くなった。また④のおとぎにれば、徒然草は斯くしてラストとしての役割が終わり、兼好の随筆といった形に変わっていった。序段の「つづれなまに、日暮りし、硯にむかひて」は最後に書き足したかと思われる。と。

他方、③はその51頁において、序段が徒然草二百四十三段の総序として、のちに書き加えられたとする説は採らないとしている。ご参考まで。

参照本・

- ①西尾実校注 徒然草 岩波文庫
- ②小松英雄 徒然草抜書 講談社学術文庫
- ③上田三四二 徒然草を読む 講談社学術文庫
- ④嵐山光三郎 現代語訳徒然草 岩波現代文庫文芸

力助会通信

◆7月度の理事会から

7月19日の理事会で、当協会が内モンゴル自治区対外科技交流中心との間で、「協力に関する協議議事録」の件が討議され、調印することが承認された。会長を団長とする14名が8月23日から「フフホー張家口―北京8日間の旅」に出発し、2日目の24日にフフホー市でこの調印を予定している。国際善隣協会としては、2014年8月に、中国科学技術交流センターとの間で「協力に係る協議議事録」を調印している。

また、その後8月28日から9月1日まで、「JSTとくらサイエンスプラン」により17名が訪日する。団員は内モンゴル自治区大学教員4名、自治区研究者10名、その他3名。当協会が受け入れ窓口となっており、早稲田大学、東京工業大学、建設会社技術研究所等へ案内をする計画である。8月31日には、当協会を訪問し、歓迎交流会を開催する。

(事務局長 藤沼弘一)

◆「善隣中国塾」9月開講

日時…月末金曜日16:00～18:00
*第1回は9月28日(金)、場所…当協会5階会議室、講師・座長…矢吹晋氏(學術顧問)

・教材…『中国の夢―電腦社会主義の可能性』矢吹晋著、花伝社、2千円。

◆「善隣古海塾」9月開講

古海建一氏を座長とする「善隣古海塾」を開講。古海顧問から見た満州が題材で、資料は手作り。

*第1回は9月19日(水)14:00～16:00、場所…当協会5階会議室、10月以降は毎月第4水曜日午後2時から。

会員だより

◎新会員

〈正会員〉 佐藤建吉氏 橋本 敏氏

〈協力会員〉 佐藤真理氏

同好会だより

〈一石会〉

7月囲碁例会優勝 遠藤文夫氏

〈謡曲会〉

9月25日例会 実施予定曲目

曲目	役	割	地頭
橋弁慶	シテ鶴川 子方神保 トモ土屋	ワキ澤村	宮下
菊慈童	シテ土屋	ワキ澤村	鶴川
小鍛冶	シテ村瀬 ワキ澤村 ワキツレ宮下	神保	神保

みんなの写真館

新橋こいち祭り (表紙)

今年も7月26日～27日に、第23回目「新橋こいち祭り」が開催された。名前の由来は「小1時間、新橋で遊んで行つてください」という願いを込めてとのこと。会場は「SL広場」と「桜田公園」に分かれるが、SL広場では初日の夕刻「ニュー新橋ビル商店連合会といわき市・いわき観光まちづくりとの交流協定締結10周年記念式典」に遭遇し、「鏡割り」を見物することができた(表2右下写真)。

一方桜田公園では盆踊りが始まった。中国からの留学生を中心に約30人が善隣協会の5階で浴衣姿に着替えて(表2上写真。協会は便宜を提供)、盆踊りを始めていた…。(藤沼弘一)

ワールドカップロシア大会 (表4下)

2018年6月15日 中国済南発モスクワ行き直行便で、中国人の旅行団に便乗してロシアに入国した。

手配されたホテル・コスモスが、FIFA指定の応援団の宿泊所であった。ホテルの正面に、フランスの初代大統領ドゴールの銅像があった。第二次大戦戦勝記念にソ連へ寄贈されたもので、当時としては大規模で高級な面影があるが、残念ながら合宿場となっていた。

「千と千尋の神隠し」のモデル (表4上)

台湾九份は台湾の北部に位置する街である。九份入口の石段

偶然にも同じホテルにいた、陽気なブラジル人と写真に収まった。(新宅久夫)

2018年9月の行事予定

- 5日(水) 13:00 俳句会
兼題「竜胆、心」及び当季雑詠
- 6日(木) 14:00 ○公開フォーラム
「歴史的観点を踏まえた首都圏の地震像」
伊藤和明氏(NPO法人防災情報機構会長、元NHK解説委員)
- 11日(火) 14:00 謡曲会(松木先生稽古日)
- 13日(木) 12:00 長寿祝賀会(於新橋亭新館)
(参加希望の方は事前に事務局までご連絡ください)
- 14日(金) 11:00 一石会囲碁例会
- 18日(火) 14:00 謡曲会(松木先生稽古日)
- 19日(水) 14:00 公開「善隣古海塾」
「古海顧問から見た満洲」をテーマに全10回程度を予定。
塾長:古海建一氏(前当会会長、当会顧問)
- 20日(木) 18:30 ◎公開アジア研究懇話会
「アセアンの発展と東アジア:日本の役割」
小川郷太郎氏(元カンボジア大使)
- 21日(金) 16:30 さくらサイエンスプラン「モンゴル・ウランバートル市の
高校生訪日団」との交流会
(参加希望の方は事前に事務局まで申込ください)
- 25日(火) 13:00 謡曲会例会
- 27日(木) 14:00 ○公開フォーラム
「私が講談の世界に入った訳・善隣協会から依頼の講談の作
り方」
宝井琴柑氏(講談師)
- 28日(金) 16:00 公開「善隣中国塾」
テキスト:『中国の夢—電腦社会主義の可能性』を使って
全7回程度を予定。
塾長:矢吹晋氏(横浜市立大学名誉教授、当会学術顧問)

9月の会議予定

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 3日(月) 14:00 環境委員会 | 11日(火) 14:00 国際交流委員会 |
| 6日(木) 16:00 講演委員会 | 19日(水) 14:00 東北委員会 |
| 6日(木) 16:00 広報委員会 | 20日(木) 14:00 理事会(第6回) |

※会員外一般聴講者の参加費は、◎印:1000円、○印:500円、無印:無料です。

※下線は通常日程に変更あり

みんなの 写真館

